



持続可能なスポーツイベントを実現する NGO/NPOネットワーク

Sustainable Sport NGO and NPO Network

SUSPON(サスポン)とは

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを持続可能な大会とすることをきっかけに、その後の東京、ひいては日本や世界の持続可能な社会づくりにつなげていくことを目指し、関心を寄せるNGO/NPOがお互いに情報交換をしつつ、自ら当事者として活動し、関係団体に働きかけていくことを会の趣旨とする。

参加団体(現在11団体)

持続可能な社会をつくる元気ネット / iPledge / 環境パートナーシップ会議(EPC) / グリーン連合 / 日本自然保護協会(NACS-J) / グリーン購入ネットワーク(GPN) / CSOネットワーク / WWFジャパン / 日本野鳥の会 / 地球・人間環境フォーラム / 国際環境NGO FoE Japan

代表: 羽仁カンタ (iPledge)

副代表: 星野智子

(環境パートナーシップ会議)

事務局長: 坂本有希

(地球・人間環境フォーラム)

部会 ▶ 状況に応じ増やしていく

ごみゼロ(廃棄物)

責任ある資材調達

気候変動・エネルギー

企業の社会的責任

生物多様性

食料調達

活動内容(2016年度)

- 全体会: 月に1回 【参加団体全て】 5/18を準備会合として第1回
- ステークホルダー一会: 偶数月 6月、8月、10月、12月、2月【部会ごと】
- シンポジウム: 11月以降に予定 【一般・メディア公開】
- 提言活動(部会ごとに年に最低1回を目指す)
 - ▶ オリパラ関係施設建設のための木材調達の持続可能性基準の提案
- 実践活動(部会ごと)
 - ▶ 食をテーマにしたイベントでのリユース食器の導入(2017年度東京都事業に申請予定)
 - ▶ マクドナルド店舗でのリユース食器導入モデル実験(関係企業の協力)
 - ▶ オフィスビルでのリユースカップ導入(関係企業の協力)

参加と協働

➤ NGO/NPOだけではなく、企業、個人と協働していく



★基本ポリシー

- NGO/NPOが団結して連絡会を結成
- 加盟団体の専門分野、得意分野を活かし、組織委員会などに提言活動
- NGO/NPOだけではなく、専門的な個人、企業の経験、知識を学び合う。
- 議論する場をフラットにする
(一方的な場ではなく、加盟団体、東京都、組織委員会など参加者が対等に議論できる場を形成する)
- 提言活動のみならず、責任を持って実践活動を行う。
- 実際にオリンピック/パラリンピック時に対応できる活動を多くのアクターと協働する

以上